

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

国 語		東京書籍
総 評		<p>児童の意欲や関心を高めたり、計画的に学習できるような構成になっていたりと非常に優れた内容になっている。</p> <p>入門期教材は、色鮮やかな挿絵や言葉が工夫され、児童の興味関心を引き付け、ねらいを達成することができると考えられる。高学年でも、発達段階に適した内容の名作、感動教材文が多く使われている。特に物語文や説明文の内容が優れており、児童が国語を尊重すること、その能力の向上を図ることに適している。また、物語文教材、説明文教材、話す・聞く等の教材の配置のバランスがよく、安定している。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの授業改善に資するよう配慮されている。② ○ 「本は友だち」というエッセイの後、「〇年生の本だな」を配置し、児童の読書意欲を喚起する工夫がされている。② ○ 未来や世界を見据えた「インターネット」「テクノロジー」「世界」等に関する教材が掲載され、心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上に配慮された内容になっている。②
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生かそう」というコーナーを単元末に設け、この単元で付けた力を他教科や日常生活で試すことを促しており、多様な活動場面や学習活動の組み合わせを考えさせる工夫がされている。②・⑦ ○ 児童の感動を呼ぶ文学教材や、興味・関心をひく「環境」「テクノロジー」「インターネット」「国際理解」といった現代のテーマにも即した説明文教材が取り上げられており、工夫がされている。②・③
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙の絵がすっきりとしていてシンプルかつ美しい。また、従来の教科書とは違い、上下巻の区別が分かりやすくなっている。① ○ さし絵や写真等が鮮明で色づかいが配慮されており、大きさや位置等も適切に配置されている。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標や内容に沿った配列になっており、6年生「防災ポスターを作ろう」のように教科横断的な指導にも配慮されている。① ○ 「読む」「書く」「話す・聞く」の各単元のはじめの1ページに、これまでに学習した内容や、この単元でどんなことに着目して学習すればよいか記載されており、「ついた力」や「つきたい力」が明確に分かる。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は写真や図が豊富で、学習内容に応じて正確かつ適切に用意されている。特に、3年生では、言葉のきまりの修飾語を「くわしく表す言葉」としてわかりやすく説明している。① ○ 児童の視点に立って興味や意欲を引き出すものになっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生入門期の絵が分かりにくく、スタートカリキュラムが意識されていない。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年「さとうとしお」は、さとうはベタベタ、しおはサラサラ等、表現等が画一的で適切でない。④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高学年の教科書が分冊ではないので分厚くて重く、取り扱いがしづらい。上下巻に分けているほうが望ましい。① ○ さしこみ教材等、字が小さく感じるところがある。(5年P.135) ②
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の発達段階に合っていないと感じる教材がある。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明文等あまり身近でない題材資料がある。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

国 語		学校図書
総 評		<p>話し合い活動では、「安全マップを作って話し合おう」のように教科横断的な教材も配置し、プログラミング的な思考をはぐくむ工夫がされている。</p> <p>高学年では、物語文、説明文ともに、児童にとって身近な話のものが多く分かりやすいが、高学年の教材としては、文章の短さや内容に物足りなさを感じる。</p> <p>入門期教材の挿絵や内容や量が少なく、魅力に欠けるところはあるものの、文字を全く習得せずに入学者となる児童に配慮しているとも受け取れる。</p>
特に優れている点	1 大阪府教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読みたい本・調べ学習で活用する本の探し方の説明の後に読書に誘うページがあり、児童の読書意欲を喚起する工夫がされている。② ○ 道徳的な内容の教材文があり、そのことは、本市の「道徳教育を通して、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実に資するような配慮をしている」という部分に適している。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広告を読み比べよう」の単元では、キャリア教育の視点も取り入れながら、情報の適切・的確な活用について学べるよう工夫されている。③ ○ 単元末に関連図書を載せたり、「読書を広げよう」で発達段階に応じた本を多数紹介したりすることで、読書に親しむ態度や読書習慣が形成されるように工夫している。⑥
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 装丁がシンプルで児童に親しみやすい。① ○ 写真が大きくて見やすい。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県名の漢字については、短歌と関連付ける等、興味関心を高める工夫がされている。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は、学習内容に応じて正確・適切である。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪府教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元学習の後に「いかす」「ひろげる」という視点で学習内容を深める取扱いがなく、日常生活に必要な国語の特質を理解できるような内容になっているとは言い難い。②
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生で俳句を口語訳や説明を記載せず取り上げているが、児童の発達段階から、理解に困難を生じることが予測される。④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙の絵に魅力がない。上下巻とも同じ色調なので区別がつきにくい。① ○ 文字の大きさが教材文によって違う。また、行間が空きすぎている教材文もある。② ○ 教材文に注釈が書かれているが、色づかいが薄くてみにくい。③ ○ 色覚に特性がある児童にとって見にくい配色になっていると思われる。（薄紫色で書かれている）④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の内容や過程等を振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるような構成になっていない。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文学教材「スイミー」が2年上にあるため、現行の東書1年下で既に学習した次年度新2年生の児童を指導する際に困難が予想される。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

国 語		教育出版
総 評		<p>「たしかめよう、考えよう、深めよう、広げよう」という学習過程が明示され、児童が一人学びにおいても「振り返る」ことができるよう工夫されている。</p> <p>入門期教材は「あ」から始まり、声を出したり文字の練習を始めたりしていくときに指導しやすい。また、挿絵は地味だが読み取りしやすい。</p> <p>物語文、説明文ともに、児童の身近な話のものが多く分かりやすいが、高学年の教材としては、文章の短さに物足りなさを感じる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 「考えよう」では、友だちと話し合うことが設定されており、主体的・対話的で深い学びの表現に向けた授業の改善に配慮されている。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 単元終わりには、単元に適した言語活動が示されていて、言語活動を通して国語で正確に理解し適切に表現することができるように配慮されている。①</p> <p>○ 児童の感動を呼ぶ文学教材や、興味・関心をひく現代のテーマに即した説明文教材が取り上げられており、工夫がされている。③</p> <p>○ 中学年の日本の伝統的文化に触れることができる単元「短歌の世界」では、万葉集から現代短歌まで、児童の視覚的なイメージが湧き上がるよう工夫された配列になっている。④</p>
	3 外的要素	<p>○ 上下巻で表紙の絵の色調を変えているので区別しやすい。①</p> <p>○ 図や写真が多く、なおかつ鮮明である。大きさや位置等が適切に配置されている。③</p>
	4 構成・配列	<p>○ 各学年の発達に沿った配列になっている。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 巻末に「付録」とされている資料は、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すような内容になっている。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 単元の見通しやどんな力を付けるのかは分かりやすく書いてあるが、当該学年までの既習事項が書かれていないため、付けた力をどう活用して学ぶのかを振り返れない等、系統的な力のつながりが分かりにくい。②</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 中学年で古典落語を取り上げているが、児童にはなじみが薄く、理解するのに困難が予想される。④</p>
	3 外的要素	<p>○ 高学年の発達段階においては、字が少し大きいように感じられる。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 発達段階を考えると理解が難しいものが低学年で多く配置されている。（1年下「お手がみ」等）①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 巻頭で学ぶことを図式化しているが、児童にはわかりにくい。②</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

国 語		光村図書出版
総 評		<p>児童の意欲や関心を高めたり、計画的に学習できるような構成になっていたりと優れた内容になっている。</p> <p>高学年の物語文では、原作に限りなく近いように掲載されており、「大造じいさんとガン」の前話、「海のいのち」の絵本に近い挿絵の数等）、言葉による見方・考え方を深めるための工夫がみられる。</p> <p>児童が、主体的・対話的に学習ができるように、「話し合う」という活動が設けられ、自分の考えを深める工夫がされている。入門期教材の挿絵の色合いには古臭さを感じるが、絵に盛り込まれた内容が豊富で、話し合い活動が活発にできそうである。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの授業改善に配慮されている。③ ○ 単元の教材に合った言語活動の広がりがあり、児童の発達段階や特性を考慮した内容になっている。そのため、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成することができる。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の感動を呼ぶ文学教材や、興味・関心をひく現代のテーマにも即した説明文教材が取り上げられ、工夫がされている。③④ ○ 単元の始めに「見通しをもとう」というコーナーがあり、その単元で付ける力が記載されていて分かりやすい。また、単元終わりにも「ふりかえろう」というコーナーで、単元で習ったことを振り返る項目が記載されており、国語の能力の向上を図る態度を養うことができる。④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙の絵が美しい。① ○ さし絵や写真等が鮮明で色づかいが配慮されており、大きさや位置等が適切に配置されている。③ ○ 歳時記の挿絵も工夫されており、教材文の理解を深める一助となっている。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特に説明文教材で、グラフや図表の読み取り等に工夫した配慮がみられる。① ○ 各学年の目標や内容を踏まえ教科横断的な視点を単元始めのページに記載してある等、効果的な指導が行われるように工夫されている。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフや表等の資料が豊富で、非連続型テキストの読み取りを学習していく際に効果的である。①・② ○ 中学年で「国語の学びを見わたそう」が具体的な絵を伴って最初に挿入されているように、児童が一時間の学習展開をつかみやすいよう工夫されている。①・② ○ 資料が豊富で、今まで習ったことを思い出したり、教材文に関連した資料の文章を載せたりする等、児童が興味をもち、学習意欲を引き出すように、児童の視点に立って工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年入門期の文字が小さく、スタートカリキュラムの意識が薄い。②
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「過ぎしやすい町」をテーマに調べ学習を進めるが、調べ方の具体例が少なく学習意欲の継続の工夫が不十分である。④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高学年の教科書が分冊でないため、厚くて重く取り扱いづらい。上下巻に分けているほうが望ましい。1年生から4年生は表紙の絵や色調が似ており、上下巻の区別がつきにくい。① ○ 字が小さく、文章量が多い。②
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生の言葉のきまりで「修飾語」という言葉が使われているが、中学年の発達段階として理解に困難が予想される。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文学教材「スイミー」が2年上にあるため、現行の東書1年下で既に学習した次年度新2年生の児童を指導する際に困難が予想される。②